

○一庫ダムの利水容量の振り替え

◇水需要を抑制する方法

- ・水需要の精査・確認を行います。

◇他の貯留施設により代替する方法

- ・他の貯留施設として、ダムや地下貯留施設などが考えられます。しかし、猪名川上流域の沿川には人家等が集中し、新たな貯留施設の設置は、周辺の社会環境や自然環境を大きく改變します。

85

ここで、一方、余野川ダム事業地では用地買収がほぼ完了しており、社会的影響も軽微なことから貯留施設として有効活用できます。

貯留施設である余野川ダムは一庫ダムの水道開発量のうち、地形条件から約0.4m³/s分を肩代わりすることが考えられます。

これにより、一庫ダムの洪水調節容量約175万m³を確保することが可能です。

86

資料：第21回委員会(H15.5.16) 資料3-2 p.43

転用の構図(2)

水源施設と水利権は別物

〔 河川法第23条:水利使用許可
特ダム法第25条:ダム使用権 〕

- ・水源施設は利水者の財産(又は債権)
需要が減少した場合、利水者の判断で他へ譲渡することも、安全度確保の為に自ら保持することも出きる。
- ・水利権は必要に応じて河川からの取水を河川管理者が付与
水利権は譲渡の対象では無く、河川管理者が取水の必要性と水源の確保等実効性を確認して許可する

水源に余裕があっても、需要がなければ全量許可しない場合もある

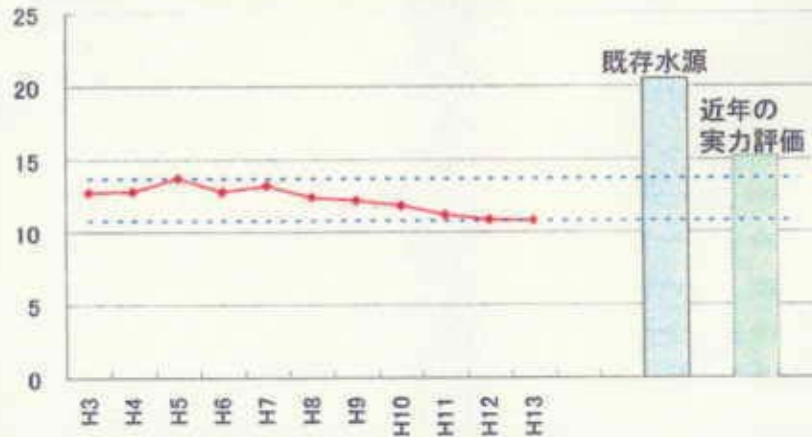
転用時の課題

- ・水源施設の権利移転
転用元、転用先での合意
1対1とは限らない
複数者、複数施設間の場合もある
金銭的課題
・施設費・管理費用の負担(水源施設は治水も含め複数の権利者での共同施設の場合がほとんど。他の共同所有者との合意も必要)
・水源は補助金等で建設している。譲渡に当たって未償還補助金の精算が必要になる場合がある
取水施設の除却、新設、譲渡等
- ・水利権の取得
取水位置が変わる場合や用途が異なり期別が変化する場合は、譲渡を受けた水源開発量と水利権許可量は異なる場合がある

資料：第4回治水部会／第3回利水部会(H15.4.14)
資料2-3-3 p.12

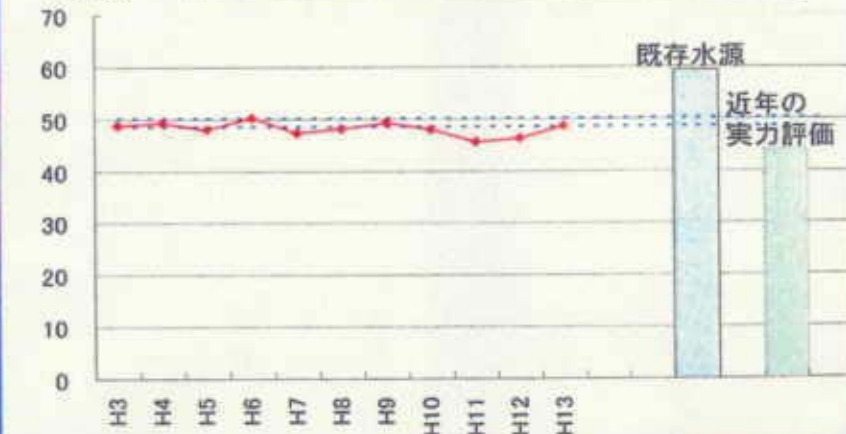
3. 取水実績と供給能力

日最大取水量 (m³/s) **大阪府・兵庫県工業用水道合計**



3. 取水実績と供給能力

日最大取水量 (m³/s) **大阪府域水道合計(大阪市を含む)**



資料：第4回治水部会／第3回利水部会(H15.4.14) 資料2-3-3 p.9

4. 下流部分の事業（環境、治水、利用を総合的に）



破堤回避対策
を実施すると

資料：第3回委員会ダムWG (H14.10.6) 資料3-2 p.17

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減
3) 堤防強化対策の考え方

破堤による被害の回避・軽減を目標

恒久的

高規格堤防化

- ・淀川と大和川に挟まれた大阪(浪速氾濫地区)の中核部の防衛を重点的に実施
- ・まちづくりと調整が必要一長期化

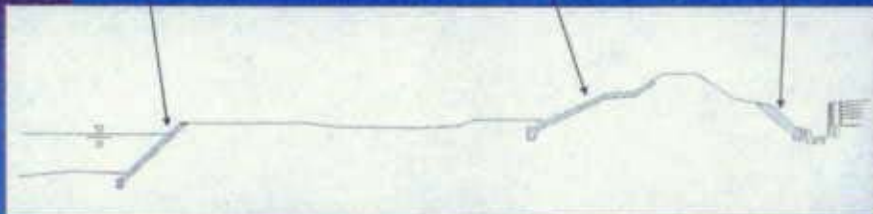
応急的

既存堤防の強化

- ・早急に対応が必要な箇所を「緊急堤防強化区間」と定め優先的に実施
- ・上記以外は他の施策も含めて実施

14

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減
3) 堤防強化対策の考え方
現状の堤防



15

資料：第3回治水部会／第3回環境・利用部会(H15. 4. 10)
資料2-3 p. 8

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減

3) 堤防強化対策の考え方

高規格堤防化



横断面図



16

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減

3) 堤防強化対策の考え方

越水に対する堤防強化の考え方

現状



越水に対する堤防強化



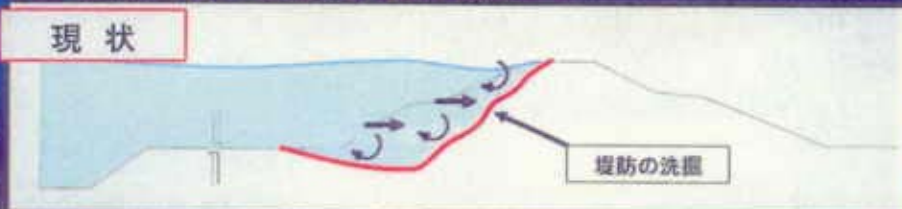
・工法については今後詳細な検討が必要

17

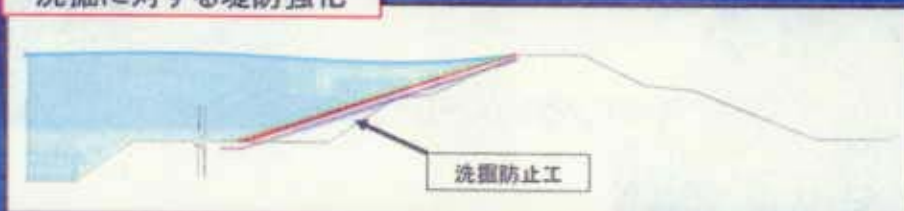
資料：第3回治水部会／第3回環境・利用部会(H15.4.10)
資料2-3 p.9

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減
 3) 堤防強化対策の考え方
 洗掘に対する堤防強化の考え方

現 状



洗掘に対する堤防強化



• 工法については今後詳細な検討が必要

18

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減
 3) 堤防強化対策の考え方
 浸透に対する堤防強化の考え方

現 状



浸透に対する堤防強化

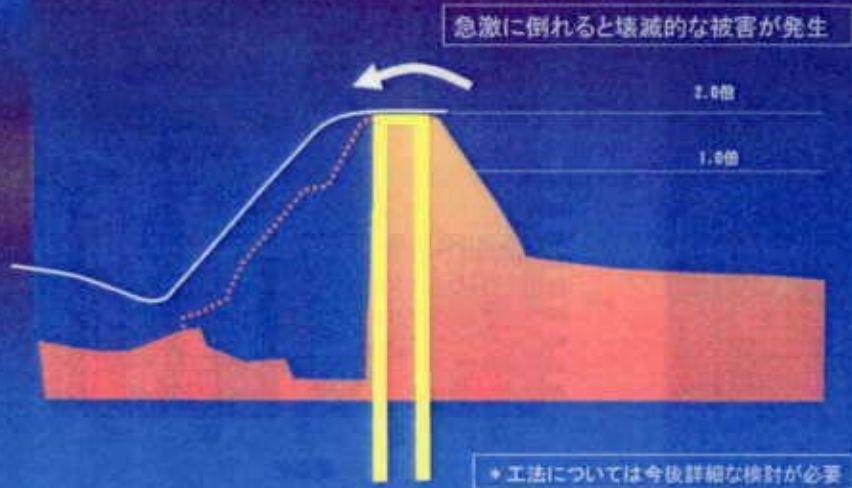


• 工法については今後詳細な検討が必要

19

資料：第3回治水部会／第3回環境・利用部会(H15. 4. 10)
 資料2-3 p. 10

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減
 3) 堤防強化対策の考え方越水対策
 (二重鋼矢板)について



20

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減
 3) 堤防強化対策の考え方
 堤防強化区間

— 堤防強化区間
 (下記の内、何れかに当てはまる区域)

- 堤防直近に人家が連担し
破堤の危険のある区域
- 500mm/日以下の降雨で
破堤の危険のある区域



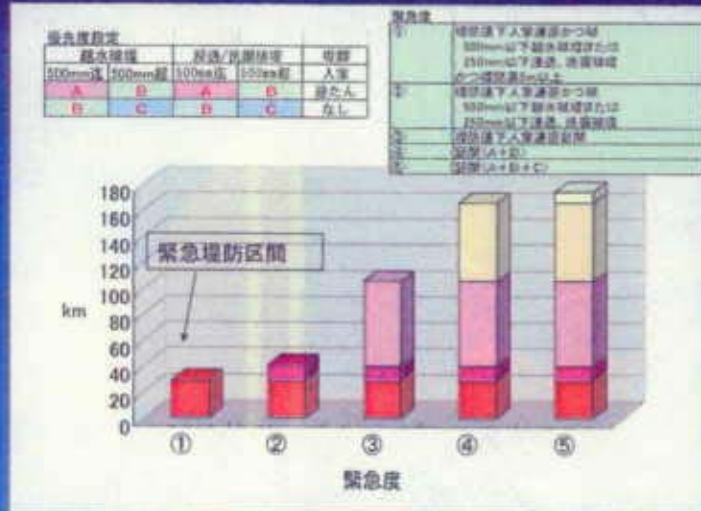
21

資料：第3回治水部会／第3回環境・利用部会 (H15. 4. 10)
 資料2-3 p. 11

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減

3) 堤防強化対策の考え方

緊急堤防強化区間延長



22

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減

3) 堤防強化対策の考え方

緊急堤防強化区間



23

資料：第3回治水部会／第3回環境・利用部会(H15.4.10)
資料2-3 p.12

4. 3. 1 洪水(1)破堤による被害の回避・軽減
 3) 堤防強化対策の考え方
 堤防強化対策事例(緩傾斜堤防)



施工前



施工中



施工中

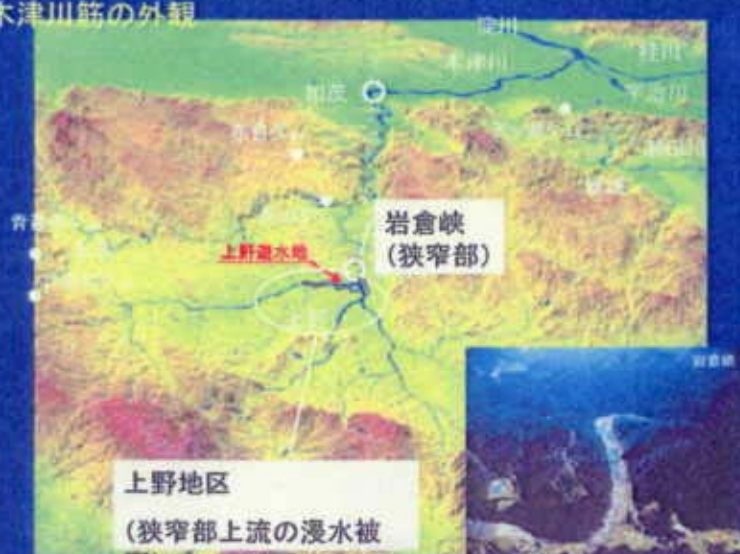


施工後

24

4. 3. 1 洪水
 (2) 浸水被害の軽減
 1) 狭窄部上流の浸水被害の解消

木津川筋の外観



上野地区
 (狭窄部上流の浸水被)

25

資料：第3回治水部会／第3回環境・利用部会(H15. 4. 10)
 資料2-3 p. 13